

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：近畿地方整備局道路部地域道路課

担当課長名：谷口 昭

事業名	じのくぼ 村道 地ノ窪線		事業区分	村道	事業主体	明日香村
起終点	自：奈良県高市郡明日香村真弓 至：奈良県高市郡明日香村真弓				延長	1.0 km (全体 1.8 km)
事業概要	村道地ノ窪線は、一般国道169号と村道御園真弓1号線とを結ぶ路線であり、棚田などの魅力ある田園風景を有する地域に密着した生活道路である。事業区間は、特に狭隘な地ノ窪集落をバイパスする延長1.0 kmの2車線道路である。					
事業の目的、必要性	村道地ノ窪線は、一般国道169号より地ノ窪集落に至る唯一の道路であり、災害による道路寸断で孤立化する集落を解消するとともに、周辺に点在するマルコ山古墳などの遺跡へのアクセスを改善し、明日香村の観光周遊ネットワークの整備に寄与するものである。					
全体事業費	8.0億円（今回整備区間4.9億円）			計画交通量	520台/日	
費用対効果分析結果	B/C	1.1	総費用	6.2億円 (事業費：6.1億円 維持管理費：0.1億円)	総便益	7.1億円 (走行時間短縮便益：6.7億円 走行費用減少便益：0.3億円 交通事故減少便益：0.1億円)
					基準年	平成16年
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・個性ある地域の形成（主要な観光地「マルコ山古墳等」へのアクセス向上が期待される） ・個性ある地域の形成（特別立法「明日香法」に基づく事業である） ・安全で安心できるくらしの確保（二次医療施設「平井病院、平尾病院、平成記念病院」、三次医療施設「奈良県立医科大学付属病院」へのアクセス向上が見込まれる） 他8項目に該当（定量的評価項目を含む）					
関係する地方公共団体等の意見	地域住民の要望および協力体制も整っている。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。